

新宿区長 宛て

団体名 特定非営利活動チャプチョアカデミー  
所在地 東京都新宿区戸山2丁目10番1103号  
(フリガナ) モトナミ キョンヒ  
代表者名 代表理事 元波 慶禧 印

## 新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500,000 円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに○をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に○をしてください。)		
保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡充
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	<input checked="" type="radio"/> 子どもの健全育成	市民活動支援
その他 ( )		

## 事業計画書

団体名	特定非営利活動法人チャプチャアカデミー
事業名	外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育・多文化共生社会の実現
① 事業目的・概要	<p><b>ア 事業目的</b></p> <p>私たちの使命は、子どもたちの健全な育成と、子どもたちが円滑に地域に適應すること、そして地域社会の多文化共生の社会づくりに寄与することである。</p> <p>日本国内では近年、外国にルーツを持つ子どもたちが増えている。私たちが活動する新宿区も例外ではない。海外にルーツを持つ子どもたちは、様々な課題に直面している。言葉や文化の違いにより学校の勉強についていけなかったり、親も含め学校や地域社会に居場所を見つけることができなかったりといった様々な課題がある。</p> <p>チャプチャアカデミーでは、子どもたちのために、勉強を教え居場所をつくるための活動に取り組んでいる。外国にルーツを持つ子どもたち、そして親が孤立しているという課題を解決するために、まずは子どもたちが日本語の読み書きをできるよう、日本語教室を定期開催している。子どもたちの居場所を作り、互いに交流を持ち、学校生活に適應していくための支援を継続する。そして、子どもたちの親も含め、外国ルーツの家族が日本社会で安心して暮らせるように支えることが本事業の目的である。</p>
	<p><b>イ 事業概要</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語教育事業</li> <li>2. 文化、芸術を通しての国際交流</li> <li>3. 進路相談のサポート、高校受験対策支援事業</li> <li>4. 居場所づくり、カウンセリング活動（家族）事業</li> </ol>

<p>② 地域課題・社会的課題</p>	<p>新宿区には43,600人以上の外国人が暮らしている。(注1)その中でも新大久保のエリアは、日本一の多民族・多文化コミュニティを構成しており、韓国だけでなく、ベトナム・ミャンマー・ネパール・フィリピン等の多くの外国出身の人々が増えてきている。新宿区内の小中学校でも子どもたちの出身国は様々で、中には学校便りを10ヵ国語で発行している学校もある程である。</p> <p>このように多様化する社会の中で、外国をルーツに持つ子どもたちを取り巻く状況は様々であり、母語が日本語ではない場合学校での授業についていけない、また子どもの親も日本語の読み書きができないといった問題が生じてくる。コミュニケーションの壁によるコミュニティからの孤立、学校の成績の低下、勉強に対する意欲の低下など、生じうる課題は数えきれない。</p> <p>当団体の前身団体である「チャプチョ教室」では、新大久保にある民間の文化センターを借りて、韓国にルーツを持つ子どもたちに勉強を教える学習教室を開校していた。ボランティア教師が、日本語(国語)、算数、英語を、教室に通う小学生から高校生までの生徒一人ひとりの習熟度、理解度に合わせて教えていた。教室に通う子どもたちの境遇はさまざまで、言語の問題から学校の授業についていけなかったり、両親が夜遅くまで共働きで働いていたりといった事例が多かった。このように「孤独・孤立」につながる多くの課題を抱えているという状況があり、現在でもそのような境遇に置かれている子どもたちが数多くいる。特に外国にルーツを持つ人口が多い新宿区において、この課題は現在でも深刻であることが容易に推察できる。</p> <p>(注1)出典：新宿区公式サイト「新宿区の人口」  <a href="https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02_101.html">https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02_101.html</a></p>
<p>③ 活動内容</p>	<p>I. イベント(会議)名：( 日本語教室 )</p> <p>ア イベント(会議)の開催予定等</p> <p>活動内容：          ・外国にルーツをもつ小中高生を対象とした日本語や教科学習の支援活動を行う。          ・自己のルーツを大切にするための特別授業を各学期末(7・12・3月)に実施する。</p> <p>実施期間：R6年6月～R7年3月          実施回数：(4～5)回/月          実施場所：会場(新宿区立大久保小学校、大久保地域センター)</p> <p>イ 対象者及び参加予定人数</p> <p>対象者：外国にルーツを持つ子どもたち15名          参加予定人数：のべ(720)名</p> <p>ウ 周知</p> <p>&lt;媒体&gt;  <input type="checkbox"/> ポスター    <input checked="" type="checkbox"/> チラシ    <input checked="" type="checkbox"/> HP    <input type="checkbox"/> その他          ( )</p> <p>&lt;周知先&gt;  <input checked="" type="checkbox"/> 区施設(特別出張所、地域センター等)    <input checked="" type="checkbox"/> 区直営掲示板  <input type="checkbox"/> その他( )</p> <p>エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)</p> <p>団体構成員 (5)名                      講師等 ( )名          アルバイト ( )名                      ボランティア (22)名</p>





	<p>イ 事業実施にあたっての感染症等への対策</p> <p>〈新型コロナウイルス感染症等感染予防対策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導当日は手洗い、うがい、アルコール消毒等を励行する。</li> <li>・室内の換気を適宜行う。</li> <li>・生徒と講師、人同士の間隔を確保する。</li> <li>・生徒と講師は自身の体調把握を行い、発熱場合の場合や体調がすぐれない場合などは教室参加を控える。</li> <li>・今後、感染拡大の際には、日本語教室に参加する生徒数およびボランティア講師の数を減らす。また、特別授業や生徒同士の交流などは延期、または人同士の間隔の確保が可能なものを実施する。</li> </ul>
<p>⑤ 期待される効果</p>	<p>ア 区民や地域社会への成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化が進む新宿区において、様々なルーツを持つ子どもたちの居場所づくり、文化交流を継続する。そして当団体の活動を広く新宿区民を含めた社会に発信することによって、新宿区の外国にルーツを持つ子どもたちが抱える課題とそれに対する当団体の取り組みを知ってもらい、区民や地域社会の人々に「多文化共生」の意義を考えていただくきっかけづくりをする。</li> <li>・区民や地域社会の構成員の方に関心を持ってもらうだけでなく、文化交流などのイベントに実際に参加いただくことで、子どもたちや子どもたちの保護者を含む家族のルーツを知ってもらうこと、お互いに交流を深めることで相互理解の促進と関係構築につなげる。これが多文化共生社会の実現のための大切な一歩になる。子どもたちを社会全体で見守り、将来の選択肢を多く持てるように支える社会づくりに寄与する。</li> <li>・課題とそれに対する取り組みである活動について知っていただくことで、活動継続のために応援して下さる区民の方を増やし、団体の安定した活動基盤構築に繋げ、子どもたちの居場所を守り続ける。</li> </ul>
	<p>イ 現状や課題に対する成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャプチャオアカデミーが主催する日本語教室に通うことで安心して過ごせる環境を創出する。個別の学習支援を行うことにより、放課後の子どもの居場所を確保できる。</li> <li>・日本語理解を深めることによる子どもたちの学習意欲の増進、学力向上、自己肯定感の向上につなげる。</li> <li>・外国にルーツのある子どもたちの民族性の尊重に基づき、子どもたちのアイデンティティを重んじた特別授業を行うことで、外国にルーツのあることを自ら自覚し誇りを持って生きる力を育成する。</li> <li>・学習支援を行うだけでなく、年齢に応じた進路相談及び指導、学校を退学した子どもの生活支援、進路指導を行うことで、子どもたちの将来の選択肢を増やす。</li> <li>・民族的風俗に基づく料理教室や遊戯などを通して、お互いの文化の理解と尊重、交流活動を行う。</li> <li>・大久保小学校や大久保地域センターで活動を行なうことにより、地域の子供たちにとってより身近に感じる場所で、学習などに取り組むことができる。</li> </ul>

<p>⑥ 先駆性・専門性</p>	<p><b>【ボランティア人材の確保及び育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、法人事業の中で地域における交易的な活動として位置づけており、永続的な活動実施を目指している。事業実施には、大学生ボランティアの協力が必要であり、本事業に賛同を得られるように大学などに呼びかけ、ボランティアの確保を行っていく。</li> <li>・子どもを指導する立場として責任をもって指導していくために、毎時授業報告書を書いてもらい、担当した子どもの当日の学習状況・課題、次回の学習につなげるための事柄・課題を確認していく。</li> <li>・授業全体を総括する常勤ボランティアは授業報告書に基づき、適宜授業計画の検討と調整を図り、子どもの学習が、子どもの要望・能力に応じ円滑に行われるようにする。</li> <li>・授業などを通して子どもの様子や状態に気を配り、気になった言動などがあれば速やかに報告してもらい、必要があると認めたときには子どもや保護者と話をして、問題解決を図る。</li> </ul>
<p>⑦ 今後の展望</p>	<p><b>【地域とのネットワーク構築】</b></p> <p>大久保小学校や近隣の小中学校・高校、大久保地域センターを対象に、本事業の成果を周知するとともに、広報協力の依頼を行うなど地域とのネットワークを構築して、連帯を深めていく。</p> <p><b>【財源確保】</b></p> <p>助成期間終了後は、NPO法人格取得後2年間の事業実施で得た地域とのネットワークと、事業成果の可視化により、区民や企業などに広く活動継続のための寄付を募る。イベント等を通じて新宿区民との関係構築を進め、当団体の活動に共感し、応援して下さる方を2024年度中に増やしていくことを目標とする。まだ知名度が低い団体であるからこそ、新宿区での活動の認知度を上げ、団体の活動に参画いただく区民の方を増やすことが急務である。</p> <p><b>【チャプチャアカデミーの卒業生が社会に与える影響】</b></p> <p>これまでの11年間および2年間（2024年度を含む）の事業実施で支えてきた子どもたち約100名の卒業生たちが社会人となった際に、日本社会において安定した生活を送れるようになることを目指す。</p> <p>社会での居場所を見つけ、家庭を持った際には、現状の課題である「親の所得格差から生まれる子どもの教育・所得格差が、その子どもたちの将来の格差につながる」という負の連鎖を断ち切ることが期待できる。</p> <p>上記を実現し、その意義を広めていくためには、NPO法人として活動2年目を迎える2024年度に、ボランティアを含めた人員体制の拡充、財政基盤を固めるための支援者（会員、寄付者）の輪を広げていくことが不可欠である。人員体制、財政基盤に弱みがある現状を打破することで、活動の安定継続と中長期的に今後の活動を発展させていくことができる。そのためにはまず団体の基盤を確固たるものにする必要があり、本助成をいただくことでその実現が可能となると考えている。</p>

<p>⑧ 過去にこの助成を受けた実績</p>	<p>助成年度（ ） 事業名（ ）</p>
	<p>助成年度（ ） 事業名（ ）</p>
	<p>助成年度（ ） 事業名（ ）</p>

<p>⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)</p>	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	<p>有 の 場 合 は 、 助 成 名 称 ( 団 体 ) 及 び 助 成 額          助 成 名 ( 団 体 名 ) :          助 成 額 : 円</p> <p>※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</p>

収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	16,800 円	大久保地域センター（調理工作室 夜間1・夜間2） 1,400円（団体登録料金）×12回=16,800円
	②消耗品及び印刷費	10,500 円	チラシ印刷（A4片面モノクロ）10円×1,000枚=10,000円 ポスター印刷（A3片面カラー）50円×10枚=500円
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	30,000 円	講師謝礼（特別授業時の交通費として） 10,000円×1名×3回=30,000円
	⑤その他謝礼	880,000 円	ボランティア謝礼（交通費として） 1,000円×22名×4回/月×10か月=880,000円
	⑥交通費	0 円	
	⑦保険料	0 円	
	⑧その他諸経費	0 円	
	⑨感染症等対策経費	0 円	
	⑩人件費	0 円	
事業費（①から⑩の合計）		937,300 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		0 円	
⑫助成対象経費（事業費+⑪）		937,300 円	
⑬助成対象外経費		0 円	
<b>事業総額</b>		<b>937,300円</b>	

内 容		予 算 額	積算根拠（内訳）
収 入 区 分	㊦ 事業収入 （参加料、資料代等）	0 円	
	㊧ 寄附金	300,000 円	サポーターによる寄付金収入
	㊨ 補助金等収入	0 円	
	㊩ 協働推進基金助成金	500,000 円	
	㊪ 団体負担金	137,300 円	
<b>収入総額</b>		<b>937,300円</b>	